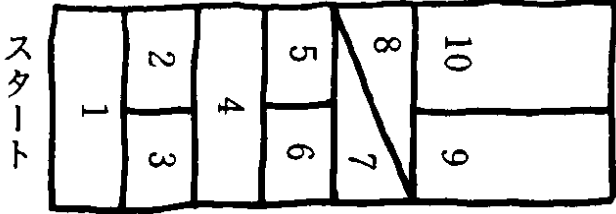


テーマ：むかしのあそび      ねらい：まけても楽しむ心を持つ

時間	担当	項目・内容	準備品
	( )	1. 集まってくる間 昔のあそびの道具を並べておき、早く来た子とあそぶ。 (ビー玉、メンコ、ベーゴマ、コマ、お手玉などあつめられるものを、借りて集めておく。)	昔あそびの道具色々
0	( )	2. 開会 はじまりのことば (セレモニーの内容と意味あいをのべる) セレモニー(お届け、天地書附)	
5 (10)	( ) 演者 ( )	3. 昔のあそび(見本) 昔のあそびのひとつを実演してもらう。ゲストを呼んでおく。 (例) コマを回す コマで鬼ごっこをした話 手のひらでコマをまわす 曲がりゴマまわし・・・) あそびは、工夫(ルール)と努力(技術)で、よりおもしろくなることについてのべる。	
15  (20)	( ) 判定 ( ) ( )	4. おはじきのルールを考える(おはじきゲーム) 普通のルールの説明をし、みんなでやる。 (一人ずつ交代) 全員で一斉にはじけて、集めまくるルールでやる。 途中で、おはじきをバラまいておき、スタートからゴールまで、当たらぬように行く。当たったらスタートからやり直し。まず、少人数ずつ。次に全員で一度に。 子どもたちに、どんなルールでやれるか聞いてみて、そのルールでやってみる。  ( )	おはじき多数 (1人10個) スタートライン用ひも1 ゴールライン用ひも1
35 (10)	( )	5. あそびの変化(話) ルールは、単純な方が面白くなる ゲームバランスの悪いルールは、すぐかえてみよう 絵を見せながら、ボールゲームの変化についてお話 ・昔サッカーで、ボールを手に持って走り出した選手がいた。これは面白いと言うことでラグビーに ・ラグビーは、前にいる人にボールをパスできない。 何でもありにしようと、アメリカンフットボールになった。	

時間	担当	項目・内容	準備品
		<p>6. ケンパのルールを考える(ケンパゲーム)</p> <p>ケンパの枠を作っておき、線を踏まないように、飛んでみる。人数にあわせて、2~3セット作る。1~9、10まで行き、向きをかえて戻ってくる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(片足でケンケンでとぶところ 1, 4, 7, 8)</p> <p>(両足で踏みしめていくところ 2と3, 5と6, 9と10)</p> <p>子供たちに新しいとび方をきいてとんでみる。</p> <p>( )</p> <p>各人に小石をわたす。とぶ前に、1に投げ入れ、うまく入ったら1を飛ばして往復し、途中で小石を拾ってもどる。うまくできたら、2に入れて続ける。線を踏んだり、足をついたり、小石がうまく入らないと交代。</p> <p>と同じだが、小石をどこに入れてもよいこととし、うまく取って戻ったところは、自分の陣とする。(陣を示すカードに名前を書いて置く)自分の陣は、両足ついて休めるが、他人の陣には入れないこととする。</p> <p>子供たちに、ルールをきいて、改良していく。</p> <p>( )</p>	